

評価の観点

○3つの観点から総合的に評価を行います。

□美術の知識及び技能

①美術の創造的な知識及び技能

発想や構想をもとに造形的な視点を理解し、表現

方法を創意工夫して制作している。

- ・ 基本的な表現方法
(描く・つくるなど用具の扱い)
- ・ 総合的な作品の表現
(創造・技能・計画など)
- ・ ICT活用し作品や表現の技法を学ぶ

②美術の鑑賞の知識及び技能

美術や美術文化に対する見方や感じ方を深め、よ

さや美しさを感じ取り鑑賞している。

- ・ ものを見る力
(感想カード・鑑賞会など)
- ・ 鑑賞レポート

□美術の思考力、判断力、表現力等

作品のイメージをスケッチしたり、新しいアイデ

ィアで表現している。

- ・ アイディアスケッチ
- ・ テーマの下書き作品

□美術への主体的に学習に取り組む態度

美術の活動に意欲的に取り組んでいる。

- ・ 授業中の態度、制作への取り組みの様子。
- ・ 宿題、忘れ物確認。
- ・ 計画的に進める。
- ・ 作品提出日を守る。
- ・ 作品を大切にする。

○これらを基本に、美術の授業に臨む姿勢を指導し、評価していきます。

学習の目標 指導要領から

○美術に興味をもち、楽しく美術に取り組み、意欲的に取り組みましょう。

○美しいと感じる心や創造する力を高め、様々な見方や考え方、発想・構想する力を身に付けましょう。

○表現の方法や素材の特徴などをとらえ、見方や考え方を広げ創意工夫して表現しましょう。

○美術作品や文化遺産などについて理解を深め、よさや見方を広げながら鑑賞しましょう。

学習の特色

○1年生の美術では、美術の基礎基本を大切にし、知る・見る・描く・作る活動を行う。

- ・ ハッチング (鉛筆の表現)
- ・ レタリング (文字の基礎)
- ・ 色の学習 (デザインの基礎)
- ・ ステンシル (グラデーションリズム)
- ・ 一版多色木版画 (色の重ね刷り)

○2年生の美術では、自己表現を伸ばし、イメージを広げる制作活動を行う。

- ・ 木彫 (レリーフを施す)
- ・ 自分の手を描く (喜怒哀楽・モダンテクニック)
- ・ 粘土 (人の動きを彫塑する)

○3年生の美術では、理解や見方を深め、さらに表現力を高める制作活動を行う。

- ・ 篆刻 (卒業記念作品)
- ・ 水墨画 (春夏秋冬)

※鑑賞レポート (全学年)

勉強の仕方

□美術学習の取り組み

- ・ 苦手意識や固定概念をもたずに、一生懸命取り組みましょう。
- ・ 先生の話聞くこと。(わからなければ質問すること)
- ・ 技術だけではなく、あらゆる感覚を使い表現をしましょう。
- ・ 美術館等で美しいものと会いましょう。

美術科 1年 年間計画

・1年生の美術は、中学生としての成長を考え、物の見方や感じ方を新鮮な見方で発見できるよう、美術の基礎・基本をベースにして授業を組み立てながら感性を育てていく姿勢を学びます。授業の受け方、ポイントなど美術教科に臨むうえで必要なことを学びます。

期	時数	内容
1 学 期	1 8	4月・【オリエンテーション】 1年生の美術授業についての取り組み方法と課題説明をします。
		5月 美しい文字の描き方（明朝体・ゴシック体）の基礎を学びます。 ・【文字いろいろ（レタリング）】 ・【色の世界（色の学習）】 ・【フェルメール「真珠の耳飾りの女」】（鑑賞）
		6月 色の名前・種類と色の三要素について学びます。アクリル絵の具を使い、混色方法筆の使い方・色の塗り方やデザインの技法を学びます。
		7月・【色彩のリズム】 画面構成や配色の組み合わせを考えたデザインの応用（グラデーション・リズム）について学びます。美しい構成を考え、自分だけのオリジナルバッグをつくります。
夏 休 み	1 4	8月・【美術コンクールに向けての作品を制作する】 各種コンクール（絵画）を選び制作し提出します。 （2学期の最初に提出）
2 学 期		9月・【絵文字デザイン】 10月 漢字の一部をイラスト化し、その漢字の意味とイラストとの調和を考えて書く 11月 ことを学びます。材料や用具を選択し、多様な表現方法を工夫して、ユーモア 12月 のある楽しい絵文字を制作します。 ・【ゴッホ「種まく人」】（鑑賞）
3 学 期	1 3	1月・【マイワールド（一版多色木版画）】 2月 自分なりの「思い・願い・夢・理想」を大切にし、自由に表現することを学びます。 3月 色の重ね方によって多様な表現方法を工夫し、美しさを感じることを学びます。 ・【ルノワール「読書する二人の少女」】（鑑賞）
	4 5	授業時数合計 45 時間

美術科 2年 年間計画

・2年生では、1年生での基礎学習を応用してより個性を活かし、様々な感性を育むことを目指して学びます。
1年次の美術の基礎基本の上に表現の可能性を広げ、特に個々の感性を伸ばし発見できることを学びます。

期	時数	内容
1 学 期	13	4月・【オリエンテーション】 2年生の美術授業についての取り組み方法と課題説明をします。 ・【東山魁夷「緑響く」】
		5月・【木で表そう】 6月 木製のコースターを制作します。アイデアスケッチ作成や彫刻刀を使用するときの安全確認をします。 7月 彫りの効果を活かしながら表現します。創意工夫し、つくる楽しさや喜びや生活で使える機能性の良さを学びます。
		8月・【美術コンクールに向けての作品を制作する】 各種コンクール（絵画）を選び制作し提出します。 （2学期の最初に提出）
2 学 期	13	9月・【私の手から広がる世界】 10月 自分の手を見つめ、自分の心の中にある『喜怒哀楽』や自分の手から広がる夢や希望や不安など内面も織り交ぜた表現を様々な技法の表現（モダンテクニック）を使い工夫し、自分の心の中にある不思議な世界を、自由な感覚でより効果的に表現することを学びます。 ・【ベルニーニ「ダヴィデ」】（鑑賞）
3 学 期	9	1月・【瞬間の美しさをかたちに（粘土）】 2月 人物の動きの瞬間のかたちをじっくり観察し、特徴をとらえて、その動きの瞬間の美しさや感動を表現することを学びます。 3月 彫刻の表現や素材（粘土）に触れ、その様々な感覚を味わい、つくる楽しさや喜びを学びます。 ・【ピカソ「ゲルニカ」】（鑑賞）
	35	授業時数合計 35 時間

美術科 3年 年間計画

・3年生の美術授業では、個々の表現力を発揮し、美術の基礎基本を見直すこと。これまでに表現してきたことを応用して制作し、創造力を高めることを学びます。今までの中学校美術の集大成となる学習として、美術表現を深めていくことを学びます。

期	時数	内容
1 学 期	1 3	4月・【オリエンテーション】 3年生の授業についての取り組み方法と課題説明をします。
		5月・【思い出の印と持ち手をつくろう「印面」】卒業記念作品 6月 篆刻について知り、素材や用具の効果的な使用方法について学びます。 7月 自分の名前を篆書辞典で探し、篆書体で描きます。陽刻・陰刻の選択、またはその組み合わせ。また、持ち手の部分の使用や機能性・立体造形の美しさを制作します。 ・【東大寺南大門仁王像】(鑑賞)
夏 休 み		8月・【美術コンクールに向けての作品を制作する】 各種コンクール(絵画)を選び制作し提出します。(2学期の最初に提出)
2 学 期	1 0	9月・【木の棒による立体構成の制作】 10月 マッチ棒を使って重ねていく立体構成の作品制作をします。具象あるいは抽象的な 11月 方法を選択し、立体造形の美しさを考えたデザインを制作します。 12月 ・【雪舟「秋冬山水図・冬景図」】(鑑賞)
3 学 期	1 2	1月・【白と黒の世界(水墨画)】 2月 筆の使い方、墨の濃淡、線描法・没骨法などの技法を使い、色紙に豊かな表情を表現します。最後に1・2学期に制作した篆刻で押印をし、完成させます。 ・【伝えよう「ありがとう」の気持ち】 日ごろからお世話になっている人に、感謝の気持ちを伝える。紙のいろいろな使い方を学び、創意工夫したメッセージカードを制作する。
	3 5	授業時数合計 35 時間